



ポリクリック シリーズ

湿式

ウェットモンドコアドリル

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なときに読み返してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。

- 警告** 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が死亡や重傷を負うおそれがある内容
- 注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が軽症を負う危険や物的損害の発生するおそれがある内容

警告

- 作業場はいつもきれいに保ってください。また、雨中や暗所、可燃性の液体やガスのある場所で使用しないでください。
- 無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。高所作業時には安全帯着用等の安全衛生規則に則った作業をしてください。
- 作業時の服装には十分注意し、袖やズボンのすそ等が巻き込まないようにしてください。
- 目に切粉が入らないよう、保護メガネを必ず着用してください。また、粉じんの多い作業では、粉じんマスクを併用し、騒音の大きい作業では、耳栓やイヤーマフ等防音保護具を着用してください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。また、改造や分解は絶対にしないでください。
- 作業中は振り回されないよう、電動工具を確実に保持してください。
- 高所作業では切削片の飛び出し、落下の危険がありますので、十分注意してください。
- カッター及びセンターピンの着脱時は、保護手袋を着用し刃先やセンターピンでけがしないようご注意ください。
- カッターが回転停止状態では、カッターとシャンクが外れやすくなっていますので、高所での持ち運び等においてはカッターが落下しないように十分注意してください。
- 回り止め棒を電動工具のサイドハンドルに押しつけた状態で電動工具の回転を始めてください。電動工具始動時は回り止め棒が急に回り出し、指詰め等の危険性があります。
- 水を使用しますので必ず感電防止対策をしてください。漏電遮断機が設置された電源でご使用ください。作業中はゴム手袋・ゴム長靴を着用してください。
- 二重絶縁タイプの電動工具のご使用をお勧めします。それ以外の電動工具は、必ずアースを取り付けてください。詳しくはお使いになる電動工具の「取扱説明書」をお読みください。
- 製品の着脱時は電動工具の電源を必ずコンセントから抜いて作業を行ってください。
- ご使用になる電動工具の取扱説明書をよく理解された上で、ご使用ください。

注意

- 使用する製品・サイズにあった電動工具を使用してください。
- 本製品は湿式でご使用ください。給水方法は裏面をご覧ください。乾式でのご使用は、カッターのダイヤモンドチップへ悪影響を及ぼし、シャンクやボディも傷めます。
- 電動工具は回転モードの正回転以外で使用しないでください。ハンマー・振動モードでの使用はカッターの破損原因になります。また、逆回転での使用はカッターが外れやすくなります。
- 穴あけ途中は回転を止めないでください。刃先が噛み込み、抜けなくなる場合があります。回転を止める場合は、カッターを被削材から引き抜いた後で回転を止めてください。
- 穴あけ中はコックを開き、必ずカッター刃先に水がかかるようにしてください。
- 1穴毎にカッター内の切削片、切粉を取り除いてから作業してください。
- 切削片がカッターから出にくい場合はカッターをシャンクから外し、棒状の物で刃先側へ押し出してください。
- 鉄筋への当たり方によっては鉄筋切断後、切削片が刃先に詰まり回転が止まる場合があります。このような時は、鉄筋の切削片を取り除いてから作業を続けてください。そのまま続けると刃先破損の原因となります。
- 鉄筋を切った後等、切削片がカッター内で折れている場合は、切削片を取り除いてから作業を続けてください。
- カッターの切れ味が落ちた時は目立てを行ってください。目立ての方法は、裏面をご覧ください。
- ご使用後は水分を取り除き、油などを塗って錆止め処理を行ってください。

本製品について

仕様

<刃先径、全長、有効長>

カッター	刃先径(mm)	全長(mm)	有効長(mm)
標準タイプ	25~220	180	150
ロングタイプ	50~80	250	220

<適合センターピン>

カッター	品名	品番
標準タイプ	センターピン	PCWDCPS
ロングタイプ	センターピン250	PCWDCPS25

<適合シャンク>

ポリクリック ウェットシャンクには下表の種類があります。使用する電動工具に合わせてご使用ください。

品名	品番	適合刃先径(mm)	仕様
Sウェットシャンク	PCSKWDSS	45以下	10mmストレートシャンク
SウェットシャンクSDS	PCSKWDSRS		SDSプラスシャンク(軽量ハートドリル用)
Sウェットシャンク300	PCSKWDSS30		10mmストレートロングシャンク
Sウェットシャンク300SDS	PCSKWDSRS30		SDSプラスロングシャンク
Lウェットシャンク	PCSKWDL	50以上	13mmストレートシャンク
LウェットシャンクSDS	PCSKWDLRS		SDSプラスシャンク(軽量ハートドリル用)
Lウェットシャンク300	PCSKWDL30		13mmストレートロングシャンク
Lウェットシャンク300SDS	PCSKWDLRS30		SDSプラスロングシャンク

注意：ウェットモンドコア専用シャンクです。他のポリクリック製品を取り付けしないでください。

<使用電動工具の条件>

- クラッチ付き電動工具をお勧めします。
- 二重絶縁タイプの電動工具
- 消費電力500W以上の電動工具

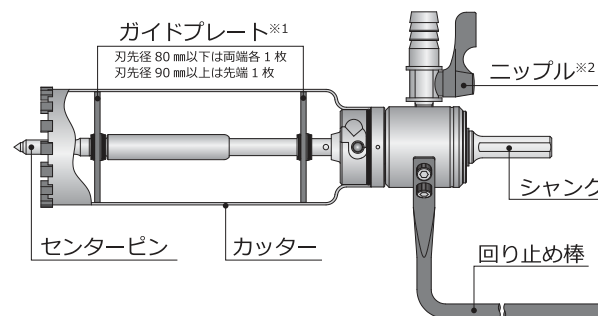
- 回転モードの正回転以外で使用しないでください。
- 湿式以外で使用しないでください。

<電動工具の適正回転速度、消費電力の目安>

刃先径(mm)	回転速度(min ⁻¹)	消費電力(W)
25~38	4900~800	500W以上
45~65	2700~700	
70~120	1800~700	700W以上
130~220	1100~500	

注意：上記は弊社標準条件における目安です。穴あけ対象物の材質や固定方法などにより異なります。

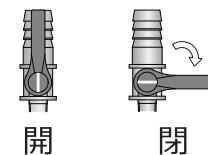
各部名称



※図はLウェットシャンクです。

※1
ガイドプレートにはコアガイドプレートブッシュ(品番：PCGPB)が付いています。磨耗した場合、新品と交換してください。

※2
ニップルの開閉



ユーザーと共に歩む

株式会社 **ミヤナガ**

〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴19番地

URL <http://www.miyanaga.co.jp>

受注センター

受付窓口 ☎0120-81-3875

商品お問い合わせ窓口 ☎0120-3875-14

F A X ☎0120-3875-17

使用について

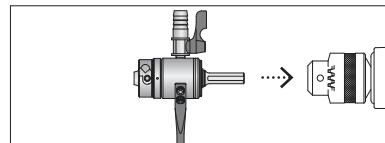
● 取り付け/取り外し方法

1. カッターの取り付け/取り外し

1

別紙「ウェットモンドシャンクの組立て方法」をご覧ください、シャンクを準備してください。

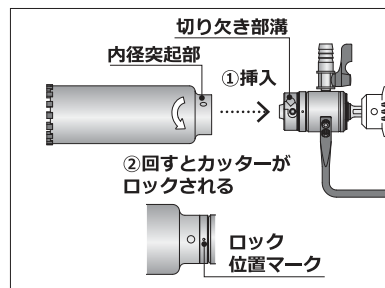
シャンクを電動工具に取り付けてください。



2

カッターの内径突起部をシャンクの切り欠き部溝に合わせ、挿入してください①。そのまま時計回りにまわすと、カッターがロックされます②。きちんとシャンクのロック位置マークのところまでカッター内径突起部がきているかを確認してください。

○取り外し
取り外しは、取り付けと逆の手順です。



2. 給水装置の取り付け/取り外し

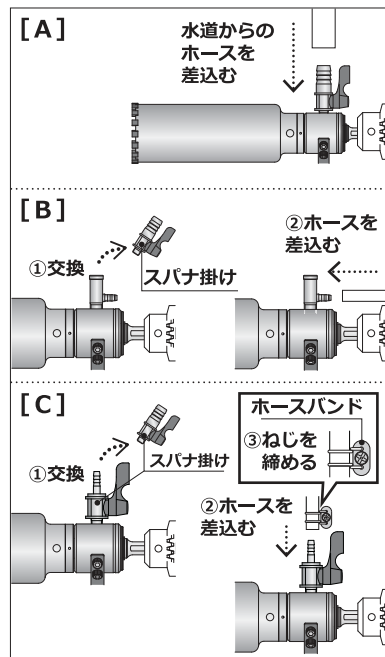
給水装置をシャンクに取り付けてください。給水装置は、以下 A～C の 3 つの方法があります。

[A] シャンクに付属しているニップルに水道からのホース(内径16mm)を差込んで使用する方法。

[B] 別売のハンズフリー給水セット(品番: PBSSH)と水量調節バルブ(品番: DMNV)を使用する方法。ニップルを水量調節バルブに交換し①、ホースを差込んでください②。交換時にスパナ(17mm)を使用していただけると作業が容易です。

[C] 別売の簡易湿式セット(品番: DME)を使用する方法。ニップルを簡易湿式セットのニップル(品番: DMBH)に交換し①、ホースを差込んでください②。ホースは、付属のホースバンドのねじをドライバーで締め固定してください③。

○取り外し
取り外しは、取り付けと逆の手順です。

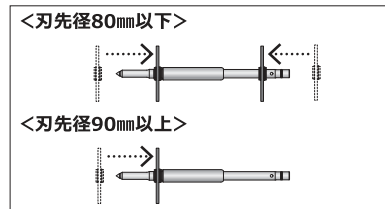


3. センターピンの取り付け/取り外し

センターピンにガイドプレートを取り付けてください。

刃先径80mm以下の場合…両端に各1枚ずつ取り付け
刃先径90mm以上の場合…先端側に1枚取り付け

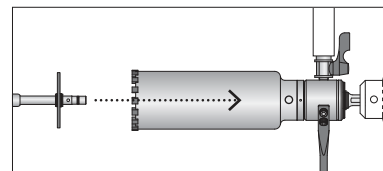
1



電動工具にカッターを取り付けた状態で、センターピンをシャンクに挿入してください。

2

○取り外し
取り外しは、カッターを保持した状態でセンターピンを引き抜いてください。



● 穴あけ方法

電動工具を回転モードにしてください。

1

穴あけ前に必ずコックを開き、水が適量出るように調節してください。穴あけ作業中は、常に注水してください。

2

穴あけ中心位置にセンターピンを当て、ゆっくりと押さえながら穴あけを始めてください。2～3mm切り込んだら①、一時中断し、センターピンを取り外して下さい②。

3

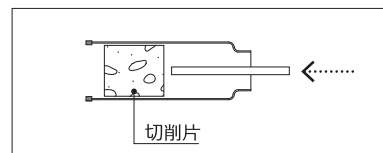
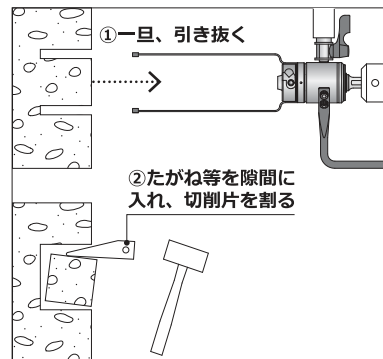
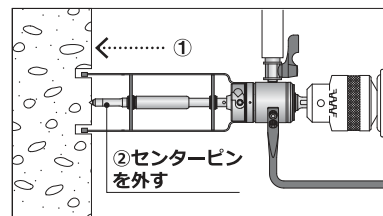
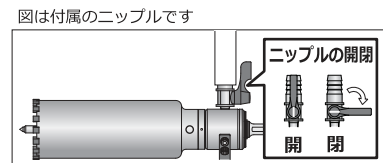
刃先を下穴に合わせてから電動工具をまわし、穴あけを続けてください。

深穴の穴あけ等で作業性が悪い場合は、一旦穴あけを中断して①、右図のような方法で切削片を折ってから作業を続けてください②。

穴あけ完了後、カッターは回転させたまま引き抜いてください。

4

切削片をカッターから取り出してください。出にくい場合は、カッターをシャンクから外し、棒状の物で切削片を刃先側へ押し出して下さい。



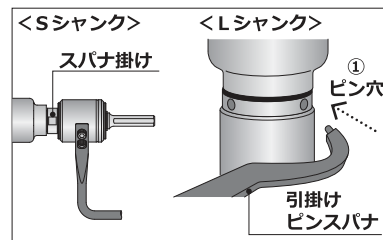
● カッターが取り外しにくい場合

シャンクからカッターが取り外しにくい場合、市販品のスパナをご使用ください。

Sシャンクの場合…スパナ(22mm)

Lシャンクの場合…引掛けピンスパナ(45mm)

シャンクの穴に引掛けピンスパナのピン部を挿入して①、カッターを外してください。



● 目立て方法(ドレッシング)

穴あけ中、カッターのダイヤモンドチップのバランスが崩れたり、急に切れ味が落ちた場合、または何らかの要因でダイヤモンドチップが変色する等、異常が生じた場合は、通常の穴あけ手順(乾式で良い)でブロックやG C砥石、または別売のダイヤドレッシングプレート(品番: DDP)に数回穴あけし、目立てを行って下さい。